

集中企画

世間ではキャリアアップへの関心が高まり、資格の取得を目指す人が増えている。このことは、IT業界も例外ではない。資格の取得は転職に本当に有利なのか？ 給料が上がるのは本当か？ 本稿では、技術系の資格から外国語の資格、さらにはMBAといった「学位」にまで範囲を広げ、IT業界で本当に役に立つ資格を検証する。

スバリ! IT業界注目の資格はこれだ!!

エンジニアから経営、外国語まで



野辺名 豊 + 編集部
調査協力：株式会社マクロミル・ドット・コム
Photo: Nakamura Tohru
Watari Tokuhiro



IT 業界関係者
必見!
誰も知らなかった

「キャリアアップ の実態 & 資格」

誤解その1

資格なんかみんな持ってないよ!

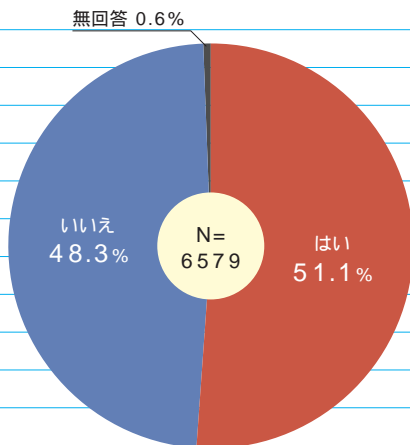
資格についての誤解を解く!

自分のキャリアアップについて本気で考えたことがあるだろうか? いまIT業界では、ベンチャーブームなどの追い風の下、社会人や学生の間でキャリアアップ志向が高まっている。果たしてこの流れは本物なのだろうか? 「資格」「キャリアアップ」とメディアが騒いでいるだけではないだろうか? そんな疑問の中、インターネットマガジンでは「キャリアアップと資格」についてのアンケートを実施、6500人以上から回答を得た。結果、なんと「半数以上の人々がキャリアアップのために資格を取得している」という数字が弾き出された。

これまで数多くの資格の普及に携わってきた、日本技術者連盟の事務総長代行を務める井戸田勲氏は、「IT業界では、資格取得やキャリアアップに対する意識は非常に高い」と語る。なぜなら、常に新しい技術が登場するIT業界では、最新の技術動向をキャッチアップし続ける必要があり、資格の取得は自分の能力を示す手段として有効だと考えられているからだ。多くの人々が、会社の制度で取得したのではなく、「自己負担で資格を取得した」という今回の調査結果も、こうした背景を考えればうなずけるものだ。

なんと2人に1人が資格を取得!!

これが
現実!



キャリアアップのために
資格を取得しているか

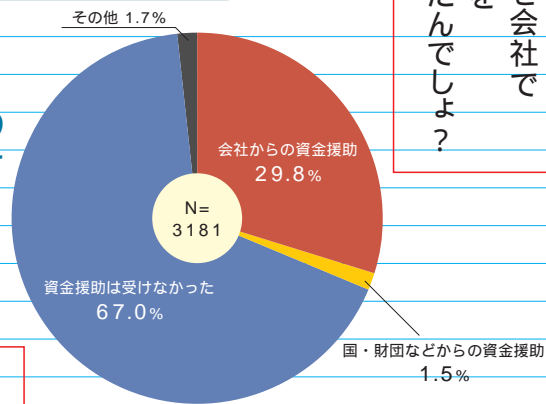
誤解その2

これが
現実!

約7割の人は
自己負担で取得!!

どうせ会社で
資格を
取ったんでしょ?

資格取得時の
サポートについて



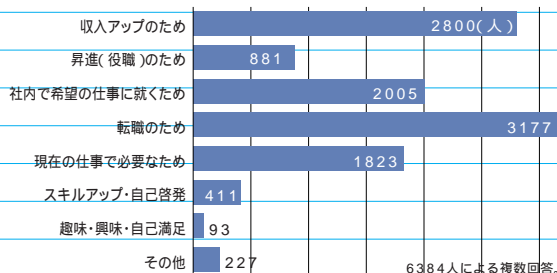
誤解その3

「なんとなく」取る人が多いんでしょ?

これが
現実!

目的意識は
すばる高い!!

資格を取得したい目的



調査について

インターネットマガジン編集部は株式会社マクロミル・ドット・コム **Jump** の協力のもと、2000年6月2～6日の5日にわたってインターネット上でアンケートを実施した。回答者6579人の内訳は男性が約88%、女性が約11%（無回答1%）で、年齢別には30歳代（約45%）、20歳代（約30%）、40歳代（約20%）の順に多かった。

Jump www.macromill.com

資格にも「勝ち組」がある!

資格や学位を取得すると何が変わるのだろうか。「まず、学歴以外の自分を証明する客観的な要素として転職などでは役に立つ。また、職制や収入のアップに結び付くこともあるだろう。さらに、独立時などで会社という信用の後ろ盾がないときにも資格が有効だ。ただ、結局は資格も含めて能力が評価されるので、資格を持っていれば必ずしも安心というものでもない」(井戸田氏)。右の調査結果はその言葉と見事に一致する。

語学系の資格は人気が高いが、井戸田氏は「秋からはTOPEC (Test of Professional English Communication) という専門能力に特化した英語コミュニケーション力の認定試験を導入する。IT技術、医学、金融など、分野ごとの専門的かつ実践的なシステムになっているのが大きな特徴だ」と語る。

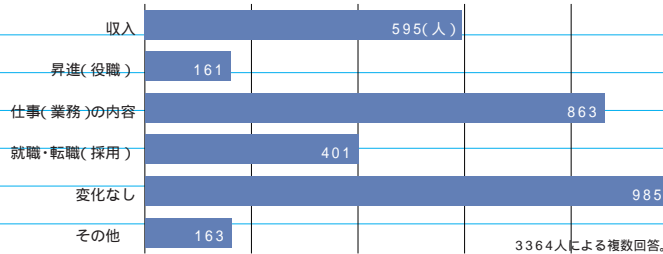
「IT業界では、業界の動向に合わせて資格の注目度も常に変動する。これからはXMLなども注目だろう」。確かにベンダー系の資格は、そのベンダーの業界での位置付けに左右される側面を持っている。資格においても「勝ち馬に乗る」心がけが大切なようだ。

誤解その4

資格を取るとオイシイの?

いいこともあるけど、結局は自分次第!!

これが現実!



資格を取得して変わったこと

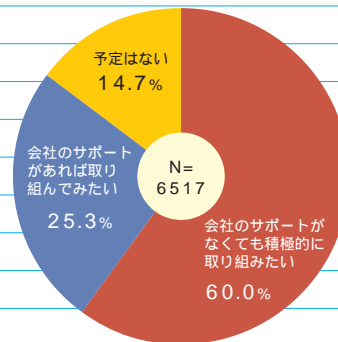
これが現実!

約85%の人が「取り組みたい」と回答!!

誤解その5

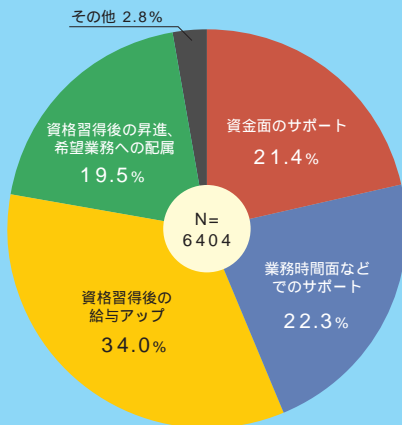
今さら取るのは手遅れだよ...

今後の資格取得予定



これがホンネだ

資格取得に際してもっとも会社に求めること



現在取得している資格(学位)

情報処理技術者	1551(人)
英検	828
TOEIC	732
システムアドミニストレータ	642
マイクロソフト認定資格	390
ネットワークスペシャリスト	148
ORACLE MASTER	106
簿記	66
シスコ技術者認定資格	40
工事担任者	37
電気通信主任技術者	27
MBA	20
ノベル認定資格	18
中小企業診断士	14
サン認定資格 (Java)	13
CG検定	12
CPA	10
その他	583

3364人による複数回答。その他は「宅建」「建築士」など。

今後、取得したい資格(学位)

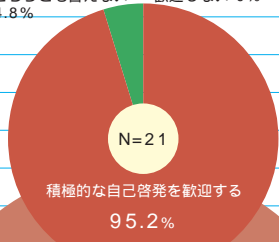
ネットワークスペシャリスト	2779(人)
情報処理技術者	2373
システムアドミニストレータ	1943
TOEIC	1885
マイクロソフト認定資格	1763
ORACLE MASTER	827
英検	734
シスコ技術者認定資格	609
MBA	547
サン認定資格 (Java)	464
CPA	173
中小企業診断士	65
社会保険労務士	37
税理士	19
司法書士	16
簿記	16
ファイナンシャルプランナー	16
その他	504

6579人による複数回答。その他には「宅建」「建築士」など。

? キャリアアップは必要か

従業員の資格(学位など)の取得について

どちらとも言えない 4.8%
歓迎しない 0%



? いま「買い」の資格は

奨励している資格(学位)

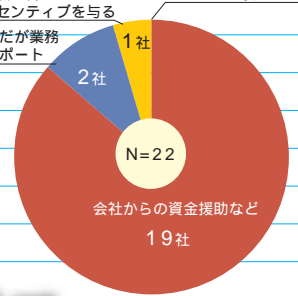
情報処理技術者	18(社)
システムアドミニストレータ	13
ネットワークスペシャリスト	13
TOEIC	9
マイクロソフト認定資格	9
ORACLE MASTER	8
シスコ技術者認定	7
Sun Java Certified	6
MBA	4
CPA	3
英検	2
その他	3

20社による複数回答の結果

? 取得の費用が心配...

資格(学位など)取得へのサポート

取得後に何らかのインセンティブを与える
取得は自己資金だが業務時間などでサポート
サポートの予定なし 0社



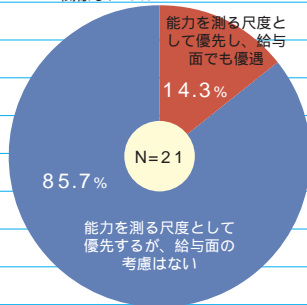
気になるホンネが見えた!

キャリアアップに対する「企業の目」

? 転職・採用に有利か

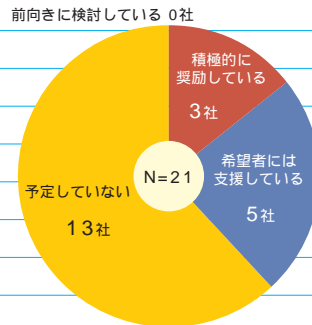
採用・待遇に資格が有利に働くか

関係ない 0%



? 留学 = 退職なのか

海外留学支援への取り組み



多くの企業がキャリアアップを評価!

「資格を取りたい!」「留学したい!」と思っても、それを会社に伝えることは転職の意思表示に等しいのではと心配する声も聞く。確かに、資格を取得した後に転職するケースが増えたため、企業にとっては「キャリアアップの奨励が人材流出を招く」と言われているのも事実だ。はたして、従業員のキャリアアップを会社側はどのように捉えているのだろうか? 今回本誌では、企業担当者へのアンケートも実施した。

結果は一目瞭然、企業側も従業員のキャリアアップを歓迎するとの意見が多く寄せられた。具体的な資格に対しては、情報処理技術者などの国家資格のニーズが高かった。たとえばニフティは、TOEIC、情報処理、シスアド、ネットワークスペシャリスト、マイクロソフト認定資格を会社として奨励している。また、採用・転職に際しても、資格の保有は概ね有利に働くようだ。



これがホンネだ

「現在は人事制度改定を行っており、その中核がキャリアパスと言える」
大手システムインテグレーター

「資格は目的ではなく、個人の能力開発の目標設定のツールの1つであり、その能力開発の結果にもとづいて処理(昇給など)される」
電気機器大手

「社内で英会話の研修に力を入れている。また、業務上必要なスキルについては研修プログラムも持っている」
電気機器大手

調査について

2000年6月上旬、マクロミル・ドット・コム
の協力のもとIT関連企業の担当者に向けてアンケートを実施した。結果、ニフティ(株)(株)リクルート、アルプス電気(株)など約20社から回答を得ることができた。

資格が「人」を判断する目安に

ここ数年、キャリアアップを図るうえで資格への関心が高まっている。広い意味では、終身雇用制が崩れ、転職が当たり前のようになってきたのが背景にあると言ってもいい。社内での上司による評価以上に、もし社外に飛び出したら自分はどれだけの実力を評価されるのかという個人のスキル＝「市場価値」が重要になってきており、その「市場価値」を高める1つの要素として、資格が注目されたからである。

IT業界もその例外ではなく、資格取得に対する関心は増すばかりのようだ。IT業界の場

合、情報処理技術者などの国家資格以外に、MCP（マイクロソフト認定プロフェッショナル）、ORACLE MASTER（オラクル認定技術者）など、ベンダー系の資格も人気を集めている。CSKの教育事業部は、企業のバックアップを受けて資格を取ろうとする技術者を対象に資格取得のためのセミナーなどを開いているが、ここ4～5年はこうしたベンダー系の資格を中心に、毎年1.5倍程度の急激な売り上げの伸びを示しているという。ITの技術教育に、日本の企業が力を入れ始めたことをこの数字は示している。

「この伸びの要因には、めまぐるしい技術

エキスパートが
話題の
資格・学位を
語る

キャリアアップ 必勝法

取材 / 文 野辺名 豊

エキスパートが語る



岡 睦（おか・むつむ）
株式会社CSK 教育サービス事業部
教育コンサルティング部 部門長

87年CSK入社。現在はCSK教育サービス事業部教育コンサルティング部の部門長として、ユーザーの教育のコンサルティングや企画などに従事。日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会カスタマーサポートサービス委員会運営委員。同教育小委員会会員。

www.csk.co.jp

の進歩の中で、どんどん新しい技術を修得していかなければならない時代背景が挙げられるでしょうね。資格を取る側にすれば、自分が業務経験などで培ってきた技術力を明示するために、一番手取り早いのが資格というわけです。そこに日本の会社が資格に対しての取り組みを積極的に始めたことが、相乗効果になっています」（岡睦 / CSK教育サービス事業部教育コンサルティング部門長）

会社としても、バックアップを積極的に行うことで、取引先にも「良い技術者がいる」と技術力をアピールできる、というわけだ。

資格があると、客観的に実績を測ることができる。それは資格を取得する本人にとって自己証明になるし、さらに言えばキャリアアップを目指して転職をする際、採用側も、その人の実力の判断材料として資格を捉えている。IT業界を含め、広く人材ビジネスを行っているパソナのIT派遣事業部長である出井隆晶氏は、「ネットワークエンジニア系では資格は必須」と断言する。確かに、人材を評価する際に中心視するのは、その人が前の会社

でどんな仕事をしてきたのか、その内容だ。だが、「Javaのプログラミングを3年間やっていた」と言われても、採用側はその仕事を見たわけではないから、真の実力はわからない。そこで、「そのときに資格があれば、わかりやすい目安となる、という発想を企業の人事はしていますね。（応募者の）レベルがあまり違わないのであれば、最終的に資格という“基本的な知識があるかどうか”で判断されることもあります」（出井氏）

注目を集めるシスコCCNA

ただ、資格が重要だということはわかっていても、実際に資格を取るための勉強するのは精神的にもかなり厳しい。仕事を持つ社会人であれば、日常業務もきちんとかこなしたうえで、しかも上手に時間を作ったことだ。また、個人が独力で資格を取ろうとする場合、費用もばかにならない。せっかくの投資を無駄にしないためにも、どの資格を取るのがキーポイントになる。

そこで今、IT業界で活躍するうえで、どん

CASE STUDY 1

私のキャリアアップ

取得に至った経緯

自分がIT業界で仕事をしてきたことの「確認」という意味。MCSEは97年に取得した。ウィンドウズNTが今後のシステムの中核を占めるだろうという当時の流れを見て。会社に奨励されてようやく取得するという時代ではなくなっている。

仕事とのかかわり

顧客企業へのシステムの提案、導入時や導入後のサポートが中心になるが、自身を含め、MCSEが約230名いるという事実が、顧客から見て信頼感・安心感につながるの大きいだろう。今の部署では、入社4年以上の社員はほとんどMCSEを取得している。

資格をこう考える

変化の激しい技術系の資格の場合、今後どの技術が不可欠になるのか、流行するのかが目配りが必要になる。どの技術＝資格を取得するかにエンジニアの「見識」が問われている。その意味では、資格とはイコール「戦略」だとも言える。

当社の場合、MCSEとPSE（IBMの認定資格）が部署として最低限の取得を奨励される資格だが、それ以外にOMG（ORACLE MASTER Gold）など3つの資格を取得している。これもやはり顧客からの信頼感が大きい。顧客企業のシステムサポートに携わる場合、その顧客が直接IBMに依頼したプログラム以外の部分で、たとえばオラクルのデータベースを用いたシステムを使っている場合もあるからだ。これがビジネスチャンスにつながることも。

取得資格：MCSEほか



77年同志社大学工学部卒業後、同年に日本アイ・ビー・エムに入社。現在は大口顧客の技術的支援を担当している。MCSEのほかにもCNE、CLP、PSE、OMGを取得している。

伊藤 忠美（いとう・ただみ）
日本アイ・ビー・エム株式会社
PCソリューション事業
PCクライアント・サーバーサポート課長

 pcsolution.ibm.co.jp

な資格にニーズがあるのか、簡単に説明していくことにしよう。

まずは**情報処理技術者**やマイクロソフトのMCPなどの技術者向け資格に目を向けると、現在人気が非常に高くなっているのが、シスコシステムズの初級クラスの資格であるCCNAだ。これに関しては、「今、一番とりたがる人が多いのがシスコの資格でしょう。1年ほど前から取り組み始めた会社がほとんど」（岡氏）、「シスコの資格取得者に対する企業のオーダーも多い」（出井氏）と口を揃える。CCNAは同社のルーターを中心としたネットワーク設計などの技術資格だが、ネットワークやウェブへの傾斜がますます強まる今の傾向を考えれば、うなずけるところだろう。

一方、安定した人気があるのは、サン・マイクロシステムズのJavaの資格（Sun Certified Programmer（Developer） for the Java Platformなど）。データベース志向の人にはオラクルのORACLE MASTER、マイ

クロソフトのMCPなどといったところだ。「需要面で見てもJava技術者は人気があるようで、技術者に関しては、Javaやネットワークの管理ができる人、というオーダーが多くなっていますね。とくにJavaベースで開発を行っている現場、あるいはサンのサーバーを用いているプロバイダーなどは、サンの資格を持っている人に強いニーズがあります」（加藤達哉 / パナソニックIT派遣事業本部営業担当マネージャー）。

これらはいずれもベンダー資格であるが、すでにそのベンダーの技術や製品がグローバルスタンダードになっており、その優位性も当分は揺るぎないからこそ人気があるわけだ。

より上位の資格を目指せ！

ただ、それゆえにこれらの資格は取得者が多く、マイクロソフト認定試験であれば、単純に「MCPを取得しました」では他人と差別化が図れなくなってきている側面もある。「MCP、ORACLE MASTER、CLP（ロータス認定技術者）は特別な資格ではなくな

CASE STUDY 2

私のキャリアアップ

取得に至った経緯

かつて出向から本社に戻ってきたとき、オラクルのサポート業務に携わったことで取得を決意した。実際、会社もORACLE MASTERの取得を推奨しており、97年ごろオラクルのサポートに関わっていた3～4名はみなGoldを取っていた。

仕事とのかかわり

ORACLE MASTERの試験自体、仕事内容とはあまり関係なさそうだが、実際に勉強してみると、実務に対応するときの「肉付け」が違う。今の仕事は主に顧客のシステムのトラブル対応やその処理だが、Goldレベルまで深く勉強していないと、原因がわからないことも多い。

資格をこう考える

一般的な話だが、資格を持っていれば仮にリストラされても、その人の市場価値はあるのではないかと。ただ感覚的に言って、Silverは新人を教育すれば取れる程度だが、IT業界で開発に携わる人であればGold、データベース開発者であれば、Platinumが必要だろう。

重要なのは、どんな資格試験でも「取ったら終わり」ではないこと。取ってからのほうが大事だと思う。たとえば私自身、Platinumを取得してからのほうが、さらなる実力の向上意識が強くなった。また、オラクルのRDB研究会の掲示板を見ていると、高い資格を取った人ほど「もっと実力のある人はいるのだから、今後もがんばらなければならない」という主旨の書きこみが見られる。そういう意味からも、新入社員でもSilverをとらせるように奨励しており、事実去年は全員が合格している。

取得資格：ORACLE MASTER Platinum



75年神奈川県立川崎高校卒。83年に入社したスパ
ルコンピュータを経て、88年に日本リニアック（現
キャノテック）入社。現在はオラクルのサポートと
チューニングなどのコンサルティングを主に担当。

www.canotec.co.jp

永野 智（ながの・あきら）
キャノテック株式会社
サーバーソリューションプロジェクト
サーバーソリューションサポートグループ
シニアシステムエンジニア

エキスパートが語る



出井 隆晶（いでい・たかまさ）
株式会社パソナ IT派遣事業部
事業部長

大学卒業後、プログラマー/SEを一貫して経験。
82年にパソナ（旧テンポラリーセンター）入社
後は、社内システムの設計、構築の責任者を務
める。IT派遣事業部設立に伴い、事業部長に就
任。

www.pasonet.ne.jp

ってきていますね。ですから、マイクロソ
フトなら、MCSE（マイクロソフト認定システ
ムエンジニア）あるいは“MCSE + インタ
ーネット（マイクロソフト認定システムエン
지니어 + インターネット）”のように、上位の
資格でなければ差別化は図れないでしょう。
ORACLE MASTERなら、初級の
“Silver”でなく上級の“Gold”“Platinum”
でないと、優位性はないでしょう」（岡氏）
岡氏によれば、その傾向はやがて今人気の
シスコのCCNAにも出てくるだろうと推測
する。よって、今後注目されるのは上位資格
のCCNPということになる。MCPであ
れば、ウィンドウズ2000関連の資格もスター
トする。そうした形で、常に上位資格を目指
さなければ優位性を保てない部分が、技術系
資格の厳しいところかもしれない。

セキュリティ関連資格に注目

このように技術系の資格においては、人気
がある資格を1つ取得したら安心というわけ
にはいかない。常に技術の動向を先取りし、

それに沿った資格を取得していくことが自己
アピールに必要なのだ。

その点で、今後、岡氏が注目しているの
が、セキュリティ関係の資格だという。実
はまだセキュリティ関係の資格には確固た
るものが出てきていないが、同氏は米国の
CIW（Certified Internet Webmaster）とい
う資格に注目していると言う。CIWはセキ
ュリティやウェブデザインなど複数の科目か
らなり、日本でも導入の動きが強まっている
ものだ。また、最近見直されているのが
UNIXの資格である。

純粋な技術者向けではない資格だが、昨年
も18万を超えたように、多くの受験者が集
まるのがシステムアドミニストレータ（初
級/上級）だ。もともとこの資格は、4～5
年前にPCを職場に導入する際、起こり得る
障害に対応する「情報キーマン」を育成する
ための資格だった。PCについての知識を幅
広く知っているという点では、企業からもか
なり認められているところに支持が集まるわ
けだ。「初級は合格率が高く、けっして手が

CASE STUDY 3

私のキャリアアップ

取得に至った経緯

もっとも大きな動機は「興味」。IJJの社員として電気通信事業に今後も携わるうえで、日本の法律や規制、NTTなどの既存のネットワークがどのように発展してきたのか、ベースの知識を身につけたかった。IJJに入社して間もなく取得した。

仕事とのかかわり

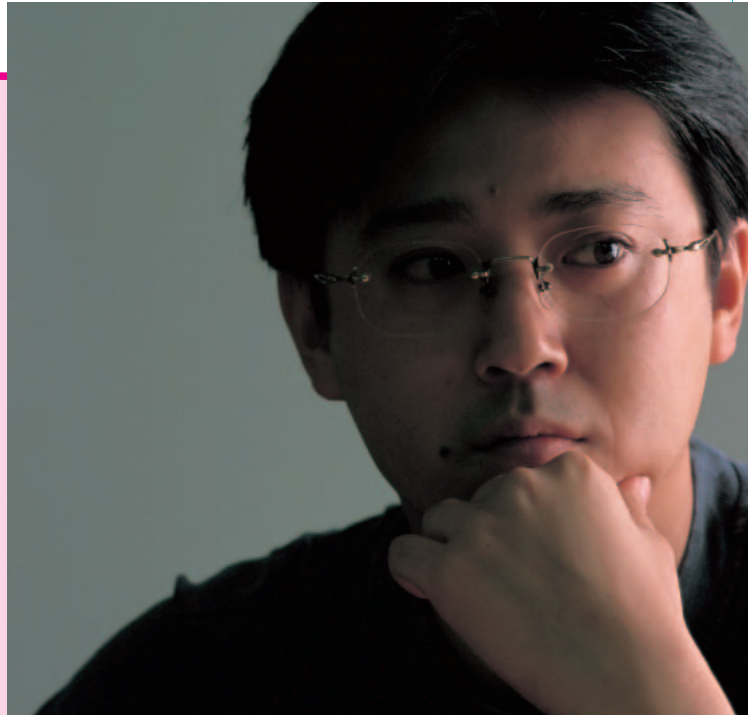
ネットワークの管理をどの地点で行えば効率がいいかなど、インターネットの経路・管理情報の分析が主。ここで視点に深みが出ることは確かである。また、特別第二種電気通信事業を行う場合、その会社に第二種電気通信主任技術者もしくは第一種電気通信主任技術者を選任する必要がある。

資格をこう考える

基本的には勉強の成果として資格がある。自分の知識の基礎的な部分が保証されているということ。実際、資格をとったからといって会社からのベネフィットはない。ただ、たとえば転職時などには、資格がベースになる面もあると思う。

そのほか、電気通信の工事担任者の資格も持っている。実際に工事担任者の指導により電気通信工事ができる資格だ。社内では回線の工事がしばしば行われるが、実際に工事を行う場合には工事担任者の資格が役に立つ。ちなみに、工事担任者は会社でも取得を奨励しており、部署の半数が持っている。今後は無線通信関連の資格に挑戦したいと思う。

取得資格：電気通信主任技術者第一種ほか



92年、神奈川工科大学工学部卒業。ソフトウェアハウス、ドリーム・トレイン・インターネット勤務を経て97年より現職。おもにバックボーンの経路制御に関する調査研究を行う。ほか、日本ネットワークオペレーターズグループ（JANOG）の副会長も勤める。

KJump www.ijj.ad.jp

近藤 邦昭（こんどう・くにあき）
株式会社インターネットイニシアティブ
技術本部 ネットワーク技術部
研究開発課

届かない設定ではなかったことが人気の一因となっているのでは？」（岡氏）

情報処理やCOBOLのニーズも高い

根強い人気といえば、第一種/二種とある**情報処理技術者**も同様だ。この資格は試験の回数が年1回と少ないものの、**シスアド**同様、ベンダーに特化していない国家資格であるという点で汎用性が高いものとなっている。パソナも「CIW」と呼ばれる前述の資格取得支援プログラムをスタートさせた。CIWは米国のインターネット技術者協会とウェブマスター協会による資格で、これもベンダーに特化しないことがウリ。こうした資格は、エンジニアだけではなく営業派遣などの分野でもニーズが高いようだ。なぜなら、IT化による「仕事のやり方」の変化は、営業職にも波及しているからだという。そこでパソナでは、CIWの資格を適用しようとしているわけだ。

一方、企業のニーズという点に視点を絞れ

ば、根強くニーズがあるのが**COBOL**のプログラマー。金融系の基幹システムの仕事を中心に、依然需要が高いのだという。COBOL関連の資格としては**第二種情報処理技術者**がある。同様に、需要の高い分野としては、今年になって大きく動き始めた携帯電話の市場がある。「新しい技術に関しては常に技術者が不足しています。ウェブ系だけでなく、制御系も含まれますね。実際、携帯電話のiモードを見ると、ありとあらゆる技術が使われているのがわかるでしょう」（出井氏）

TOEICの重要性は会社での英語の必要性に関係

以上、ここまで技術系の資格について述べてきたが、グローバルに展開するIT業界にあっては、技術系のスキルと同程度重要視されつつあるのが英語である。この英語の資格には**英検**、TOEIC、TOEFLなどがあるが、取材を通じて話を聞いた限りでは、デファクトスタンダードと言えるのはTOEICのようだ。特に外資系金融機関では、英語力を重視

エキスパートが語る



加藤 達哉（かとう・たつや）
株式会社パソナ IT派遣事業部
営業担当マネージャー

84年にパソナ（旧テンポラリーセンター）入社。人材派遣登録スタッフの募集・採用担当から、情報システム部門を経て、97年からパソナオフィシャルサイトのウェブマスター。その後、IT派遣事業部設立とともにITエンジニアの募集・採用の企画、運営全般を担当。

KJump www.pasonet.ne.jp

CASE STUDY 4

私のキャリアアップ

取得に至った経緯

英語のスキル向上には学生時代に取り組んだ。外国人とベンチャービジネスの企画・運営業務をしていたときに自然と身に着けた。TOEICについては「転職に役立つのでは」という考え、さらに「会社が資金援助してくれる」ことから受験した。

仕事とのかかわり

投資信託全般と米国株の取り扱いがおもな業務。株の注文確認や分割の配当確認の際、米国本社とのやり取りに英語会話力が必要。ただレスポンスの精度を高めるうえで英語の基礎勉強の必要性を感じる。その物差しとしてTOEICを再度受験したい。

資格をこう考える

現在は、確認業務や情報提供などのバックエンド業務が主なので、「プロジェクトを率いて利益を上げた」といった結果につながる仕事ではない。結果がダイレクトに数字に現れない分、客観評価の目安として資格が必要という面もあるだろう。今後は証券アナリスト、さらにCFA（米国証券アナリスト）の取得を目指す。

現在の会社を受験する際、日本人3人、アメリカ人1人を相手に面接が行われ、その場で英語のスピーチを試された。英会話ができなければ、おそらく採用はなかっただろうと振り返る。米国本社と頻繁なコミュニケーションを必要とするDLJ direct SFGの場合、TOEICの点数よりも「実際に外国人相手に会話できる能力」が要求される。実際、採用が決定したあと、いきなり英文の資料を大量に渡された。

取得資格：TOEIC



学生時代、富士ゼロックス（準社員）で新規事業開発室（現ベンチャー事業推進室）に勤務した経験を持つ。99年に明治学院大学法学部卒業後、大和証券に入社。その後、99年11月より現職。

www.dljdirect-sfg.co.jp

池田 康祐（いけだ・こうすけ）
DLJ direct SFG証券株式会社
証券管理部

エキスパートが語る



紺野 卓（こんの・たく）
株式会社 ANJO インターナショナル
代表取締役副社長
米国公認会計士（CPA）

米国公認会計士（CPA）などの国際資格スクールを運営。また、企業研修や国際ビジネスコンサルティング、人材派遣、人材紹介、インターネットによる経理・国際業務のアウトソーシングも手掛ける。

www.anjo.co.jp

する傾向が強い。たとえば、外資系企業で金融システムの運用管理を担う場合は、「ネットワーク関係資格 + 英語」といったスキルが求められる。ただし外資企業全般で見た場合、片言の英語が話せれば通用する場合と、「TOEICが××点以上でないダメ」という場合とがある。

CPA（米国公認会計士）取得支援などを手がけるANJO インターナショナルでは外資系企業への人材紹介も行っているが、同社の紺野卓代表取締役副社長によれば、業務書類が英語主体であるなど、コミュニケーションが英語ベースで行われる場合は、英語が最低限のスキルと考えたほうがいいと言う。単にTOEICの点数だけでなく、実際に面接でヒアリングやスピーチが試されるので、むしろ生きたコミュニケーション能力が必要だ。

逆に、読み書きベースの英語力で通用する会社に転職するならば、その実力を技術系の資格に代弁させることもできる。シスコのCCNPなど上位コースになれば、試験は英語、テキストも英語である。CCNPに合格

すること自体に、相当の英語読解能力が求められるわけだ。

国際標準資格に注目せよ！

現在のIT業界では、技術者ばかりではなくマネージメントやファイナンシャルなどのプロフェッショナルが求められることも多い。なかでも「国際標準資格」と呼ばれる米国の資格が重みを増している。IT企業の経営体系がグローバルスタンダード化の流れにあることは間違いないからである。

「なかでも今人気があるのがCPA（米国公認会計士）であり、今後注目されるのはCFA（米国証券アナリスト）でしょう」と、自らがCPA取得者であり、国際標準資格取得のサポートを行うANJO インターナショナルの紺野氏は言う。この言葉どおり、特にグローバル化とIT化が同時進行している金融業界に活躍の舞台を求める場合、国際的な米国の資格取得者のニーズが高い。さらに、国際会計基準の導入も待ったなしの状況で、ゆえに米国のスタンダードな財務スキルが必要

CASE STUDY 5

私のキャリアアップ

取得に至った経緯

もともとは独立して事業を起こすことを目標に持っていた。営業マンのころ、グロービス（ビジネススクール）で学んだマーケティングが、実際に仕事で役立つ体験を得た。そこで、本格的にITに特化したマーケティングを米MBAで学ぶことに決めた。留学費用は約800万円ほど要した（自己負担）。

仕事とのかかわり

現在は、移動体通信やデジタル家電の営業・販売支援に特化した人材アウトソーシング事業を行うバックスグループの事業持株会社で経営企画部に属し、経営戦略策定およびIRを担当している。多くの場合、現実の経営では意思決定を助に頼りがちだが、学問的・体系的にB to Bのマーケティングを学んだおかげで、意思決定の際に確固たる判断のできる地盤ができた。

資格（学位）をこう考える

MBAに関して言えば、日本では「資格」というイメージがあるが、米国ではビジネスにおいて実戦的な能力を持つ人間として見られる。組織をコントロールしなければならない経営陣の1人としても、ビジネススクールで学んだことは大いに役立っている。一方で役に立たなかったという声も聞くが、学んだことを生かすも殺すも結局は本人次第だと思う。

MBAの肩書き以上に大きな財産になったのが、米国留学時に培ったビジネススクールの人脈だ。いろいろな文化を背景に持つ人々と、ディスカッションを通じて信頼関係を築いていく感覚は、日本のビジネススクールでは得られない体験だと思う。以前、外資系の会社と取引しようと思ったときに、同窓生である米国の友人に電話したところ、事前に彼が手を回してくれたおかげで、こちらから話を持ちかける前に先方からコンタクトがあったこともあつた。現在も毎月交流会が催されていて、日本にいる同窓生たちと会っている。



91年に明治大学商学部卒業後、リード エグジビジョン ジャパン入社。94年に退社し渡米。96年に米国経営国際大学院サンダーバード校卒業、Master of International Management取得。帰国後は日本オラクル、シティバンクを経て本年2月より現職。

本田 直之（ほんだ・なおゆき）
株式会社バックスプロモーション
取締役 経営企画室室長
7月1日よりバックスグループに社名
を変更、2001年には店頭公開の予定。

www.backs.co.jp

MBA（経営学修士）

なのだ。

「CPAなど米国の資格は日本の公認会計士試験とくらべても取得しやすくなっています。本来、資格は取ることで自分が目的ではないと思うので、取ってから競争をするという米国のやり方は理に叶っています」（紺野氏）の言葉どおり、最近は大企業の社員はもとより、個人で資格を取得しようというケースも増えているという。CPAは最終的に米国で試験を受けなければならないが、それでも志願者が増加している。CPAのほか、CFA、EA（米国税理士）、CIA（公認内部監査人）、CMA（米国公認管理会計士）なども注目される資格だ。

人気の資格をマークせよ

さらに、マネージメント層、あるいはハイエンドのコンサルティング業務に携わる人には、MBA（経営学修士）がある。このMBAは、正しくは資格ではなく「学位」に当たるものだ。MBAは日本でも取得できるところが増えている（277ページ参照）が、

米国のMBAは留学を伴うことで、MBA本来の経営知識のほか英語力、さらには「人脈」が得られる（本田直之/バックスプロモーション取締役経営企画室長）。CPAやMBAなど、米国の資格や学位は専門知識以外に語学力が付くなどのメリットがあるのも大きいようだ。

このように、今や米国のほうで資格が先行して生まれ、それが日本で人気が出るという流れがありそうだ。「CCNAが日本で注目を集める前に、関連本がアマゾン・コムで上位を占めていました。いま米国でどのような資格が出てきているのか、常にマークしておくことも重要になるでしょう」（岡氏）。

スキル向上のための 目標と位置付ける

ただ、基本に立ち返れば、資格はあくまで目安であり、最終的に人物を評価するのは業務経験そのものであることも述べておきたい。特にネットワークやアプリケーションの部分は実務経験がものを言う面も強く、業務経

験に負う部分が多い。金融システムなら金融商品に詳しく、業界の慣習を知る技術者が重宝される。ウェブのシステムにしても、営業系のシステムであれば、実際に営業の経験がある人と、ただプログラミングができるという人では、採用段階で有利度が異なる。

資格の有無は給与に反映されているけれども、それほど大きな額にはならないという声もあった。資格自体、世の中の技術の革新に応じてリニューアルされるので、昔取った資格が数年経っても有効とは限らない。資格とはあくまでスキルを向上させるためのファーストステップであり、最終的には業務に生かされなければならないのである。

「そういう意味では、自分がこの技術だったら負けないというものを、早く作ることでしょね。この技術が必要な仕事があれば、必ず声がかかる。そうした軸が1つでもあれば、他の資格に手を広げるのはさほど苦痛ではないわけです。1つの技術を極めた経験があるので、他の技術にしてもどのように極めればいいのかというノウハウがわかっていま

IT業界で役立つ
資格を
徹底チェック!

キャリアアップの ためのデータファイル

IT業界注目の資格リスト

名称	特徴	試験区分	受験資格など	受験料	試験日程	試験問い合わせ	受験問い合わせ
第二種情報処理技術者 (情報処理技術者 第二種)	情報処理技術者試験はコンピュータ関連唯一の国家資格。13の試験区分がある。第二種情報処理技術者はそのベースとなる。	国家資格	なし	5,100円	年2回	日本情報処理開発協会 www.jitec.jpdec.or.jp	日本情報処理開発協会 03-3591-0421
第一種情報処理技術者 (情報処理技術者 第一種)	情報処理技術者試験はコンピュータ関連唯一の国家資格。第一種は第二種情報処理技術者の上位資格。	国家資格	なし	5,100円	年2回	日本情報処理開発協会 www.jitec.jpdec.or.jp	日本情報処理開発協会 03-3591-0421
ネットワークスペシャリスト試験 (情報処理技術者 ネットワーク)	情報処理技術者試験の一類型。情報通信ネットワークの計画、設計、運用業務を遂行する業務資格。	国家資格	なし	5,100円	年1回	日本情報処理開発協会 www.jitec.jpdec.or.jp	日本情報処理開発協会 03-3591-0421
システムアドミニストレータ (情報処理技術者シニア)	ユーザーの立場で情報化のための知識・技術を問う「初級」と、上位資格である「上級」とがある。	国家資格	なし(上級は27歳以上)	5,100円	年2回 (初級)	日本情報処理開発協会 www.jitec.jpdec.or.jp	日本情報処理開発協会 03-3591-0421
ホームページ作成技術能力認定試験	ウェブサーバーの知識やホームページの作成技術レベルを認定。	民間資格	なし	1級: 6,500円 2級: 5,500円 3級: 4,500円	自由設定	日本情報処理教育普及協会 www.sikaku.co.jp	日本情報処理教育普及協会 03-3573-4034
ORACLE MASTER (Silver, Gold, Platinum, Certified Developer)	オラクルDB製品によるデータベースの設計や開発、運用に関する高度利用者の技術認定。	民間資格	なし	各15,000円 (11種)	毎週月～土曜	ORACLE MASTER 事務局 03-5717-1810	シルバン・プロメトリック 0120-867-737
MCP (マイクロソフト認定プロフェッショナル)	マイクロソフト製品に精通し、利用方法やサポートをニーズごとに提供できるプロを認定。	民間資格	なし	12,500円	自由設定	マイクロソフト www.asia.microsoft.com/ japan/partners/mtc/	シルバン・プロメトリック 0120-867-737 / V-UE社0120-355-583
MCP+Internet (マイクロソフト認定プロフェッショナル+インターネット)	サーバー製品の設定や管理、セキュリティ、パフォーマンス、トラブル処理などを認定。	民間資格	なし	12,500円	自由設定	マイクロソフト www.asia.microsoft.com/ japan/partners/mtc/	シルバン・プロメトリック 0120-867-737 / V-UE社0120-355-583
MCP+Site Building (マイクロソフト認定プロフェッショナル+ Site Building)	マイクロソフト製品によるウェブサイトの構築、管理などを認定。	民間資格	なし	12,500円	自由設定	マイクロソフト www.asia.microsoft.com/ japan/partners/mtc/	シルバン・プロメトリック 0120-867-737 / V-UE社0120-355-583
MCSE (マイクロソフト認定システムエンジニア)	ウィンドウズNTなどを用いて効率的なシステム構築、企画などができる技術知識を認定。	民間資格	なし	12,500円	自由設定	マイクロソフト www.asia.microsoft.com/ japan/partners/mtc/	シルバン・プロメトリック 0120-867-737 / V-UE社0120-355-583
MCSE + Internet (マイクロソフト認定システムエンジニア+インターネット)	インターネットやイントラネットの技術、運用、分析などに加え、ソリューションが提供できる知識を認定。	民間資格	なし	12,500円	自由設定	マイクロソフト www.asia.microsoft.com/ japan/partners/mtc/	シルバン・プロメトリック 0120-867-737 / V-UE社0120-355-583
CCNA/CCNP (シスコ技術者認定)	比較的簡単なネットワークの知識を認定(CCNA)。複雑なネットワーク知識(CCNP)。	民間資格	推奨プログラムなど	試験内容で異なる	随時	シスコシステムズ www.cisco.com/ japanese/warp/public/3/ jp/event/tra_ccc/ccc/	シルバン・プロメトリック 0120-387-737
CCDA/CCDP (シスコ技術者認定)	比較的簡単なネットワークの設計に関する知識(CCDA)。複雑なネットワーク設計の知識(CCDP)。	民間資格	推奨プログラムなど	試験内容で異なる	随時	シスコシステムズ www.cisco.com/ japanese/warp/public/3/ jp/event/tra_ccc/ccc/	シルバン・プロメトリック 0120-387-737
CCIE-R/S/CCIE-ISP Dial/CCIE-WAN-Sw (シスコ技術者認定)	ルーターやスイッチ、WANスイッチに関する知識を認定。それぞれがシスコ技術者認定の最高峰。	民間資格	推奨プログラムなど	試験内容で異なる	随時	シスコシステムズ www.cisco.com/ japanese/warp/public/3/ jp/event/tra_ccc/ccc/	シルバン・プロメトリック 0120-387-737
CCNP-WAN-Sw/CCNA-WAN-Sw/ CCDP-WAN-Sw (シスコ技術者認定)	ネットワークの導入や設計に必要な知識や技術を認定(各資格でレベルや範囲が異なる)。	民間資格	推奨プログラムなど	試験内容で異なる	随時	シスコシステムズ www.cisco.com/ japanese/warp/public/3/ jp/event/tra_ccc/ccc/	シルバン・プロメトリック 0120-387-737
Sun Certified Programmer for the Java Platform (SJC-P)	プログラミングのコンセプトなどの開発知識とともに、Javaの包括的な知識を認定。	民間資格	なし	24,000円 (1科目)	毎日	サン・マイクロシステムズ www.sun.co.jp/service/ education/	シルバン・プロメトリック 0120-107-737
Sun Certified Developer for the Java Platform (SJC-D)	アプリケーションを使った複雑なプログラミング能力や、課題の実行に必要な知識を認定。	民間資格	SJC-P資格	24,000円 (1科目)	毎日	サン・マイクロシステムズ www.sun.co.jp/service/ education/	シルバン・プロメトリック 0120-107-737
Sun Certified Developer for the Java2 Platform	上記資格のJava2対応版(2000年6月5日より)。	民間資格	SJC-P資格	24,000円 (1科目)	毎日	サン・マイクロシステムズ www.sun.co.jp/service/ education/	シルバン・プロメトリック 0120-107-737

名称	特徴	試験区分	受験資格など	受験料	試験日程	試験問い合わせ	受験問い合わせ
Sun Certified System Administrator for Solaris (SCSA)	Solarisのシステム管理技能を認定。	民間資格	なし	24,000円 (1科目)	毎日	サン・マイクロシステムズ www.sun.co.jp/service/education/	シルバン・プロメトリック 0120-107-737
Sun Certified Network Administrator for Solaris (SCNA)	Solarisのネットワーク管理技能を認定。	民間資格	SCSA資格	24,000円 (1科目)	毎日	サン・マイクロシステムズ www.sun.co.jp/service/education/	シルバン・プロメトリック 0120-107-737
CNE (ノベル認定技術者)	NetWareを中心としたネットワークの技術や知識を認定。	民間資格	なし	15,000円 (1科目)	自由設定	ノベルwww.novell.co.jp/edu/test/	シルヴァン・プロメトリック 0120-387-737
CLS/CLP (ロータス認定技術者)	ロータスノーツ/ドミノの開発や運用に対する技術や知識を習得していることを認定。	民間資格	なし (資格による)	15,000円	自由設定	ロータス www.lotus.co.jp	シルバン・プロメトリック 0120-517-737
PSS/APSE/PSE (IBM技術者認定)	IBMの各種サーバーマシンに関するエンジニアの認定試験。	民間資格	研修など	10,200円	問い合わせ	日本IBM www.jp.ibm.com/profesnl/	シルバン・プロメトリック 0120-387-737
CIW (Certified Internet Webmaster)	米国PROSOFT社が提供するインターネット技術者の認定資格。	民間資格	研修など	日本では2000年度から	日本では2000年度から	日本技術者連盟 www.jttas.or.jp/renmei/	日本技術者連盟 www.jttas.or.jp/renmei/
電気通信主任技術者	電話設備など事業用電気通信設備の工事、維持、運用の監督。第1種、第2種伝送交換、線路主任技術者の3種類。	国家資格	特になし	15,300円	年2回	日本データ通信協会 www.dekyo.or.jp/kokka.htm	日本データ通信協会電気通信国家試験センター 03-5814-1181
工事担任者	電話やPCなどの端末設備の接続と調整。アナログ第1~3種、デジタル第1~3種、アナログ・デジタル総合種の3分野からなる。	国家資格	特になし	15,300円	年2回	日本データ通信協会 www.dekyo.or.jp/kokka.htm	日本データ通信協会通信国家試験センター 03-5814-1181
CATV技術者(1級/2級)	大規模CATV施設的设计・設置・維持管理などの管理。	公的資格	実務経験など	39,900円(1級) 33,600円(2級)	年1回	日本CATV協会 www.catv.or.jp/JCTEA/shikaku/shikaku.htm	日本CATV協会 03-5273-4671
英検	文部省後援の実用英語技能検定資格。	公的資格	なし	900~5,500円 (級によって異なる)	年3回	日本英語検定協会 www.eiken.or.jp	英検サービスセンター 03-3266-6571
TOEIC	英語によるコミュニケーション能力を正確に測定するための国際コミュニケーション英語能力テスト。	民間資格	なし	6,300円	年7回	国際ビジネスコミュニケーション協会 www.toeic.or.jp	TOEIC運営委員会 0120-40-1019
日商簿記	企業の資産や資本、負債の出納、増減を計算し、帳簿記帳や伝票作成を行う。	公的検定	なし	7,140~1,530円	年3回	東京商工会議所検定センター www.kentei.org/boki/	日本商工会議所業務課 03-3272-8600
中小企業診断士(情報部門)	中小企業の経営診断を行う者としての資格認定。	国家資格	なし	13,000円 (第1次、税込)	年1回	中小企業診断協会 03-3563-0851	中小企業診断協会 03-3563-0851
社会保険労務士	社会保険の事務処理や、労務に関するコンサルティングを行う。	国家資格	あり(大卒・高専卒など)	9,000円	年1回	全国社会保険労務士会連合会 社会保険労務士試験センター 0120-174-864	全国社会保険労務士会連合会 社会保険労務士試験センター 0120-174-864
ファイナンシャルプランナー (AFP/CFP)	各種金融商品や不動産などの資産運用の専門家を認定。初級のAFPと上級のCFPとがある。	民間資格	講習など	10,000円 (AFP) 5,000円 (CFP、1科目)	年3回	日本ファイナンシャル・プランナーズ協会 03-3500-5533	日本ファイナンシャル・プランナーズ協会 03-3500-5533
CPA (米国公認会計士)	米国の公認会計士資格。日本でも国際会計基準の導入で受験者が増加中。	米国資格	原則大卒	-	年2回	ANJOインターナショナル(取得支援) www.anjo.co.jp	-
CFA (米国証券アナリスト)	日本にも証券アナリストのルーツ。日本の「証券アナリスト」資格の上位資格に相当する。	米国資格	大卒相当	500~1,000ドル程度	年1回	ANJOインターナショナル(取得支援) www.anjo.co.jp	-
EA (米国税理士)	米国内国歳入庁が行う国家試験に合格した米国の税理士。	米国資格	なし	55ドル(全科目)45ドル(1科目)	年1回	ANJOインターナショナル(取得支援) www.anjo.co.jp	-
MBA (経営学修士、経営管理学修士)	経営学を専攻する大学院の修士課程で得られる学位。資格ではないが、ビジネスに必要な知識やスキル有すると見られる。	大学院の学位	欧米では語学力が必要	大学による	大学による	別表	-

日本でMBAが取得できるITに強いおもな大学院

青山学院大学大学院	www.bb.aoyama.ac.jp
関西学院大学大学院	www.kwansei.ac.jp
慶應義塾大学大学院	www.keio.ac.jp
神戸大学大学院	www.kobe-u.ac.jp
国際大学大学院	www.ij.ac.jp
筑波大学大学院	www.tsukuba.ac.jp
テンブル大学	www.tuj.ac.jp/emba/
日本大学大学院	www.nihon-u.ac.jp
一橋大学大学院	www.hit-u.ac.jp
法政大学大学院	www.hosei.ac.jp
ボンゼンジョセ大学	www.enpc.net
立命館大学大学院	www.ritsumeiji.ac.jp
レスター大学(グロービス)	www.globis.co.jp/gms/
早稲田大学大学院	www.waseda.ac.jp

キャリアアップに役立つ「学べる」おもなウェブサイト

ANJOインターナショナル	www.anjo.co.jp
モンタナ州立大学ビルギングス校「ビジネスコミュニケーション修士号」	
GlobalEnglish	www.globalenglish.com
TOEICの模擬試験など英語全般	
ディスタラーニング社など	www.bbt757.co.jp/dista/
衛星放送とインターネットで学ぶ「USC MBAコアプログラム」	
ISIZE STUDY	www.isize.com/school/
資格ではないが、イサイズネットカレッジに各種講座あり	
インフォシーク	www.infoseek.co.jp
「学びチャンネル」にはMCPなどのオンライン模擬試験がある	
IQ3	www.iq3.co.jp
スキルアップの総合サイト。オンラインコースも用意されている	
バリントン大学MBAコース	www.barrington.gr.jp/mba/mba.htm
米国アイオワ州登録のバリントン大学のMBAコースをインターネットで受講	



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp